

令和5年度 学校関係者評価委員会 結果

1. 学校関係者評価委員会規程 (別紙)
2. 学校関係者評価委員 (別紙)
3. 学校関係者評価委員会開催日時・場所

令和6年3月25日(月) 14:00~15:00 看護学校 学校長室

4. 学校関係者評価結果と今後の課題

- 1) 準備資料 (1) 令和5年度看護学校運営目標に対する実施及び評価
(2) 学生によるカリキュラム評価(卒業生、2年生、1年生)
(3) 授業科目別平均点一覧
(4) 学生による科目評価一覧
(5) 自己点検・自己評価結果
(6) 教育理念・教育目標(旧カリキュラム・新カリキュラム)

2) 審査結果

令和5年度看護学校運営目標ごとに評価委員による審査結果を一部抜粋して掲載する。

(1) 「教育の質の向上を図る」

- ・新、旧カリキュラムが混在する中、混乱なくカリキュラムが運営されていて良かった。地域・在宅看護論実習Ⅰの振り返りについて、他校とオンライン上で合同発表会をされたのは大変効果的だと思う。地域差などに関して学生の視野が広がり学びになったと思う。

(2) 学校経営基盤の安定を図る

- ・閉校を前に学生確保が大変だったと思うが、30名確保できたことは、広報による努力の結果と貴校の歴史と実績によるものと思う。

(3) 社会人としての自覚を高め、主体性及び協調性を養うよう支援する

- ・社会人基礎力については、学生だけでなく、就職した新人にも該当するため、新人看護師を指導する看護師も教員と協力し、学生の中から社会人基礎力を向上できるよう協働して取り組めると良いと思う。

(4) 教員としての能力開発に努める

- ・研究に積極的に取り組まれたり、他校との授業参観や意見交換を行うなど活発に取り組んでおられる。

(5) 学習、生活環境の充実に努める

- ・学生の安全に目を向けられて整備されていることがわかった。
- ・閉校に向けて、建物の有効活用の検討をお願いしたい。